

小田原

広報

まちづくり情報誌



笑顔がとまらない

ここ元気、からだ元気。

こころ元気、からだ元気。

2000年を迎え、いよいよ21世紀への扉が開きます。

これから私たちに求められるものは何でしょうか。課題は時代ごとに変わってきます。
しかし、いつの時にも大切にしなければならないものがあります。それは、健康。健康は活力のみならずです。

次の時代を迎えるにあたって、わたしたちは、もう一度この原点に立ち返ってみることが大事なのです。

介護保険になる前に

年がどんどん若くなる

健康おだわら普及員
川本雪江さん(福井地区)

「毎日、忙しいですね。やることがいっぱいあつて、のんびりなんかしてられないませんよ」

普及員の会長を務める川本さんは、元気いっぱい。普及員の活動のほか、毎日の農作業と1万歩の散歩(天の散歩をかねる)、そしてカラオケは欠かさない。

健康おだわら普及員は、市民の一人ひとりが積極的に地域の代表。各地域ごとに、手伝いをする。保健教室や指導教室、講演会など工夫をこらしたイベントを行っている。

川本さんの福井北地区では、毎年、下中小学校のバザーの時に、減塩みそ汁の試飲会を行っている。最近は食育が偏っているでしょ。スナックやインスタント食品が主流。塩分が多く、油をたくさん使正在のため体にいいとは思えません。

昔は「おぶくろ(袋)の味」と言つたけど、今は「ふくろ(袋)の味」になってしまつたんですよ(笑)

それにも増して、食事そのものの味付けが濃い家庭が非常に多い

飲食は大事であるとのこと。みそ汁

자체は体に良くても、塩分を取りすぎ

ては意味がないのである。

小田原市の65歳以上の人口は30・565人と、人口の15パーセントを占めている。(平成11年4月1日現在)。その割合は年々増加傾向にあり、2025年には日本の高齢者割合がビーチを迎える。県平均でも12・7パーセント(平成11年1月1日現在)といよいよ超高齢社会に入った。4月からは介護保険制度がスタートし、市でもその準備が急ピッチで進められている。しかし、介護保険があればすべて大丈夫なのだろうか?

健康おだわら普及員は現在80人。最近では、各地域の普及員活動への参加者もどんどん増え、一つの世代間交流の場にもなっています。普及員の活動は、決して押しつけではない。参加者が、自分の健康のために何かしてくれたらそれでいいと考えている。それが犬の散歩であつても、カラオケでも何でもいいのだ。特別なことを求めているのではない。

本当に素晴らしいことじゃないですか。健康を大切にして、楽しく年をとりましょう。すでに普及員歴10年を超える川本さんだが、その活動は、ますます熱を帯びてきそうだ。

介護への防波堤

健康づくりの3原則は、「栄養・休養・運動」

川本さんの話に、もあつたように、最近は各地域でさまざまな取り組みが行われている。

保健センターでも、日々の健康や生活習慣病などについて保健婦や栄養士が相談に応じる「すこやか健康相談」、糖尿病や高脂血症、高血圧などのテーマにそつて講師が教えてくれる「健康づくり教室」など充実したサービスが行われている。

今時代に必要なのは、「介護を受けないで

すむ老後」すなわち「楽しく年をとるための備え」ではないだろうか。私たち一人ひとりが「自分の健康は自分が守るのだ」というこ

とに、早く自覚めることが大切なのである。



「毎日飲む物だから、体にうつても良い減塩みそ汁を飲んでいますね」と川本さん

学校のバザーの時に、減塩みそ汁の試飲会を行っている。最近は食育が偏っているでしょ。スナックやインスタント食品が主流。塩分が多く、油をたくさん使正在のため体にいいとは思えません。

昔は「おぶくろ(袋)の味」と言つたけど、今は「ふくろ(袋)の味」になってしまつたんですよ(笑)

それにも増して、食事そのものの味付けが濃い家庭が非常に多い

飲食は大事であるとのこと。みそ汁

자체は体に良くても、塩分を取りすぎ

ては意味がないのである。

どうして起くる、子供の虐待

最近よく耳にする、虐待という言葉。毎日のように流れるニュースは、目を覆いたくなるものばかり。では、なぜこのような虐待が起きてしまうのか。どこに問題があるのだろうか。

一人で悩まないで

小田原児童相談所

指導課長 国本 芳子さん

私は虐待をしていますとは、なかなか言えないものですよね。

虐待というと、コインロッカーに入れられたり、お湯をかけられたり、と悲惨な形ばかりを想像しがち。しかし、実際には形にあらわれないもの非常に多い。例えば、家に閉じこめて学校に行かせないなり、病気やけがをしても病院に行かせないなどもまた虐待の一つ。必要以上の非難や

これらのはんざは、当事者が虐待をしているということには気づいていない。

「最近の親は自分が一番で、子育てが一番

以降になつていて自己中心的」と言われることが多い。笑っている子供に「うるさいから笑うな」としかる親、上げ底ぐくを履

いて、親を抱きかかる親など。時代

は変わっていきます。しかし、この人たちを

悪い親だ、と非難しているだけでは、この問題は解決しません」

まずは、早期発見

家庭訪問でよく話してみると、子供をたいた親の方が傷ついてしまっていることがある。

（親も悩んでいるんですよ。どんな人も虐待をしてしまう可能性はある。親自身が子供のときに傷ついていることもあります）

相談して欲しいと思います」

国本さんは、最近虐待がよく話題になることを悲しく思いながらも世の中に子供を守ろうと活動が出てきたからこそ、この話題が表面に出るようになつたのだ。と前向きに受け止めようとしている。

親は安心して子育てできる環境を皆で作ることが大事なのです。

そして、少しでも困った時は、人で悩ます、

親などもまた虐待の一つ。必要以上の非難や

差別などもまた虐待なのだ。しかし、親をして

いるということには気づいていない。

（最近の親は自分が一番で、子育てが一番

以降になつていて自己中心的、と言われる

ことが多い。笑っている子供に「うるさい

から笑うな」としかる親、上げ底ぐくを履

いて、親を抱きかかる親など。時代

は変わっていきます。しかし、この人たちを

悪い親だ、と非難しているだけでは、この問題は解決しません」

子供の虐待の原因は、経済的な問題から社会的孤立、夫婦関係や子育てノイローゼまでさまざま。子供にはまったく無関係なことから起こってしまう場合も少なくない。

そして、親たちは周りから非難されるとこそを恐れて援助を求められずにいる。虐待から子供を救うために最も重要なのは、身近な人への理解と早期発見。時には生命にかかることがある。まずは、周囲にいる子供からのサインを見逃さないことが大切だ。

ちょっと気になる子供を見た時は、すぐに相談を。児童相談所 ☎23-0388



衣類や体が汚れていて、親の手をかけられない



ひどく乱暴であったり、盗みや嘘が多い



表情が乏しく、活気がない

虐待をなくすためには、個人だけで努力するのではなく、学校や医者、民生委員、児童委員、そして福祉関係機関などがネットワークを組み、それぞれの立場で発見と援助を進めなければ、なかなか難しい。厚生省では、平成12年度予算の概算要求に、児童虐待防止市町村ネットワーク事業の実施に向けた内容を盛り込んだ。

子供たち、そして親を守るために、地域のみんなで力を合わせていくことが求められているのである。



急がれるネットワークづくり

虐待をなくすためには、個人だけで努力するのではなく、学校や医者、民生委員、

児童委員、そして福祉関係機関などがネット

ワークを組み、それぞれの立場で発見と

援助を進めなければ、なかなか難しい。厚

生省では、平成12年度予算の概算要求に、

児童虐待防止市町村ネットワーク事業の実

施に向けた内容を盛り込んだ。

子供たち、そして親を守るために、地域の

みんなで力を合わせていくことが求められ

ているのである。

中学生の子育て体験！

毎年、保健婦と保育士が中心になって行っている子育て・保育体験学習「小田原市総合計画レインボープロジェクト」「はづらつエンゼル・愛の環プロジェクト」の一つであるこの事業は、中学生が本物の赤ちゃんをたっこしたり、おもつ交換を体験するもの。普段、小さい子供とふれあう機会の少ない中学生のママぶりを、ちょっと拝見してみよう。

今年の参加は、城南中学と国府津中学の3年生。まずは、国学院大学の宮崎豊先生の講演。生命の誕生や胎児の成長の話に熱心に耳を傾ける。次は、いよいよ妊娠体験。エプロンの前ポケットにベットボトルの重りを入れての妊娠体験では、参加者から「こんなに重いの?」とか「ふー」というため息が漏れた。

その後、いよいよ本物の赤ちゃんとの対面。最初は緊張しながらぬれ物を握るよう赤ちゃんと抱いていたが、次第になれてくると、ミルクをあげて寝かしつけに成功する中学生もいた。どの顔も笑顔、笑顔だった。この事業のいいところは、赤ちゃんを通じて、母親との交流もできるところ。2日目は保育園での保育体験。乳児から長児と一緒に遊んで遊んだ中学生は、「つても楽しそうだった。帰りには、中学生も園児も最後まで別れを惜しんでいた。



～参加中学生の手紙～

はじめは、どうなるかと思っていたけれど、赤ちゃんを抱いたりしてたら、かわいいな、私も子育てしてみたいな、と思いました。

表情がコロコロ変わって、今の私になりました。

体験学習に参加して、命の大切さや、私もしっかりと育てられたんだ、とう感謝の気持ちになりました。

見てるだけで楽しい。飽きない。1日目は怖くてされなかつた。でも2日目は子供から来てくれた。保母さんを甘く見てた。いつもにこにこ笑っててすごい。大変で疲れたけど、その分笑顔がうれしくて、本当の親になつたみたいだつた。

～参加中学生の手紙～

「もう、帰っちゃうの?」と言われたときは、本当に帰りたくなくなっちゃいました。

私は小さいころ、しおちゅう風邪をひいたりせんそくで親に大変な思いをさせました。赤ちゃんのお母さんと一緒に人に、私のお母さんと同じ思いの人がありました。話を聞いて、お母さんはすごいな、と思いました。私の母も大きくなきました。

子供はうるさいだけかと思っていたら、意外に言うことを聞いてくれてたすかりました。

すぐ、なつてくれた赤ちゃんや子供たちありがとう。わたしもぜったい赤ちゃんを産みたい！

赤ちゃんたちの おかあさんからの手紙

赤ちゃんにさわったことがないという中学生も多かったようですが、この日に赤ちゃんのやわらかさ、かわいさ、命の大切さなどを感じてもらえたのはないでしょうか。私自身も、中学生に接し、15年後には、我が子もこんなに大きくなるんだなあ、なんて思つていい体験になりました。

子育てはとっても大変ですが、感動もたくさんあります。素敵なパパ・ママになってください。

急増する育児相談

保健センターでは、安心して子育てができるように、保健婦や保育士、栄養士などが定期的相談を行っています。その相談件数は、平成9年度の313件に対して、10年度が726件、11年度は1,038件見込みと、毎年増しています。

核家族化、少子化の進む現在、多くの親たちは、不安を抱えながら育児をしています。現在の親たと、将来親となる子供たち。皆が一緒になって子育てを考える機会が、これから多く求められていくでしょう。

保健センター

☎ 470820



歴史の踊り場 文 小澤良明

私は平成十二年を「歴史の踊り場」と位置づけます。西暦二〇〇〇年、千載一遇と言いますが、まさに私達はこの時に生を

得ております。昭和十五年に小田原町と足柄町、大塚村、早川村、酒匂村の一部である山王・綱一色が大合併して市制施行以来六十周年。

また、明治以来連続と続いた我が國の統治制度、中央集権体制が終りを告げ、この四月から国と地方自治体は上下・主従の関係から、一応、対等、協調関係となります。地方自治一筋の私にとって両期的な転換期です。社会システムの大改革となり介護保険制度もいよいよ実施されます。県下三十七市町村の中でも、施設等の基盤整備、ヘルパーさん等の人材、市役所やボランティア等関係者の準備体制等々どれをとっても

相対的に見て県内トップクラスの水準にあると自負しています。第三次の改革期の真っ只中、戦後最長と言われる不況もようやく底を打つ気配で、いわば景気の変曲点とも思われるのも今年、平成十二年。

不安も期待もないませになつて新しい年を迎えたしました。まさにいろいろな意味を込めて私達は、小田原本は日本は、今「歴史の踊り場」に立っています。それだけに私は一段一段踏みしめた過去を厳しく検証し、目前にそびえる未来への階段に

かながわの景勝50選・まつり50選 曽我梅林開園30周年

小田原梅まつり

どこへ行ても白い匂い。どこへ行ても梅の中です。麗峰富士をバックに、この歴史ある梅林を歩けば気分は最高。梅まつりには、毎年80万人が訪れます。

2月1日火～29日火
曽我の梅林・小田原城址公園

詳しくは「広報おだわらひふ1月15日号」をご覧ください。

小田原に梅が植えられたのは文化・文政時代で、寒中に咲く強さと、高貴な香りが当時の武士の気風に合い、城下の侍屋敷に植栽させたのがはじまりといわれています。また、梅花の觀賞と梅は戦時における兵糧用とするために藩主の奨励



によって城の外郭や寺院をはじめ畠周辺などに植栽がされました。

さらに、小田原地方が塩の供給が豊富なことと、箱根八里の山越えの旅人が多くなり、小田原宿が発達してから梅干しが弁当を腐敗させない副食として必需品となり小田原の梅干しが名声を博したのです。

辻村植物公園の梅林

公園一面を漂う560本の梅の香りに、おもいっきり深呼吸。

枝先からこぼれる相模湾や小田原市街地の眺めに、おもわずため息。

春を満喫するおすすめのスポットです。

関東学院大学、箱根駅伝に参上！

小田原にキャンバスを持つか会を勝ち抜いて、みごと本選出場を果たしました。初日4区のランナーとして、平塚から小田原までの区間を走り抜けた武生健さんは、完走後「沿道の応援があまりにすごくて感激しました。次のランナーの弟、武生さんの双子の弟に、たすきを渡しながら最後の力をふりしほつて『がんばれ！』と声をかけました」と話してくれました。

総合順位は13位でしたが、今年優勝の駒沢大学も初参加から34度目の挑戦での初優勝でした。

21世紀に向けて、がんばれ関東学院大！

プラザを利用しよう

「地域に開かれた学校」を目指し、小学校の余裕教室の活用を進めています。児童・生徒の地域で利用しよう。

◎教育総務課 ☎33-1673

利用日時 9:00～21:00

使用料 なし

手続きは簡単 今すぐ申し込もう！

市民が自由に利用できます。

10人以上で利用団体登録しよう。

登録が済むと「プラザ利用団体登録証」とプラザの鍵をお渡しします。あとは、各プラザに備え付けの利用割当券で利用希望日・時間を作りだけ。

※宗教活動や営利を目的とした団体などは利用できません。

※利用可能人数は、それぞれ40人です。

「プラザ」は、次の5小学校

△足柄小プラザ 犀町3-21-7

△桜井小プラザ 曽比1943

△曾我小プラザ 曽我大沢69

△前羽小プラザ 前川858

△酒匂小プラザ 酒匂5-15-3

REPORT

地下10mの世界へいざ！
マンホールの蓋が聞いてすぐ中のぞいた
マントールの声。酸素と硫化水素の濃度を測
定しながらでないと入れないので、ブンと汚
水の臭いがする。係りの職員が明かりを照ら
ながら下り、統いて心配そうな顔に見送ら
れてコの字型の足がかりを三点確保の要領で
垂直に降りていく。およそ10m
下りた所に半円形の中難点があり、さら下の直徑4mの本
管をかなりの量の水が音をたて
て流れている。予想したほど良
いがひどくないのがありがた
い。外の寒さに比べ、中はモワッ
とした蒸気が漂っていた。半世
紀とちょっとの人生の中で未知
の世界で貴重な体験をした。
まさに地上にいる私たちにとって
はミステリアスな世界である。

8 m² × 2.80 m 円
1 m²あたり2.80
円を納める。例え
ば50坪（1坪33.33m²）
の土地を所有して
いる場合1.65.2
4.6, 2.770円と
なる（10円未満と
切り捨てて）。納入
は完成後の3年間



広報レポーター
信濃幸江さん

マンホールの中のぞく。番組にコの
字型の鉄の蓋が約50cm間隔で奥まで
で繋がり、薄暗い隙の力で降りていくのか
と使うと緊張感が走った。

地
下
10
m
の
世
界
へ
い
ざ
！

下水道工事は直接地面の上から掘れなかつ
たり深い所で行う場合は、ガスや上水道など
を避け一時移設しなければならないので
費用の費用がかかる。

小田原市では昭和41年度から、投人した工
事費の一部を受益者（下水道ができることに
よって利益を受ける地域の人）が負担する制
度を実施している。受益者負担金は処理区域
（公共下水道に接続できる区域）内のすべての
土地を対象とし、直径4mの本
管を納める。例え
ば50坪（1坪33.33m²）
の土地を所有して
いる場合1.65.2
4.6, 2.770円と
なる（10円未満と
切り捨てて）。納入
は完成後の3年間

下水道工事は直接地面の上から掘れなかつ
たり深い所で行う場合は、ガスや上水道など
を避け一時移設しなければならないので
費用の費用がかかる。

小田原市では昭和41年度から、投人した工

事費の一部を受益者（下水道ができることに
よって利益を受ける地域の人）が負担する制

度を実施している。受益者負担金は処理区域

（公共下水道に接続できる区域）内のすべての

土地を対象とし、直径4mの本

管を納める。例え
ば50坪（1坪33.33m²）
の土地を所有して
いる場合1.65.2
4.6, 2.770円と
なる（10円未満と
切り捨てて）。納入
は完成後の3年間

軒中2軒弱の家が接続していないことにな
る。「上水道料は納めるが、捨て水にお金を
払うのはどうも」と考えがちだが、尊い税
金は施された下水道を利用することで、水の
汚染はもとより蚊などの発生をなくし
快適な生活を営むためにも接続率が100%
につながることが大切なのだ。

近くの河川にメタカラ・ホタルカルガモ達が住

むきれいなまち小田原を次の世代に伝えてい

くために、公共下水道への接続に協力しよう。

（小田原市下水道課）

<

まいたうん
レポート



すてきな人 みつけた

食への興味が最高の食材
スタッフの皆さんの
チームワークでがんばっています。
世界の家庭料理実行委員会
会長萩野章子さん

会長萩野章子さん

「人と出会い、そして食べる」と作ること
が好きなのが長続きしているんです」
と萩野さん。小田原市内や近郊に住む日本人を講師に、世界各国の料理を作り、味わうこの教室は年間3~6回、主に日曜日の午後に開かれる。平成3年にはじまり、今までにアジア・アメリカ・ヨーロッパをはじめ世界23か国のバラエティ一
に富んだ料理が34回も食卓を彩つた。

（略）
日本語の上手な外国の方も多くなりました。たしかに、JJC（青年会議所）によつて開かれたこの「料理教室」に参加しました。最初のころは、指導もレシピもすべて英語で書かれていたので、もちろん通訳がいましたけど（笑）。今けで思えば、たぶん、料理を通して人と文化にふれあう、なんて素敵じゃないですか。異文化体験が楽しくて何回か参加しているうちに、なぜか英会話を勉強していました。



イタリア料理。アンチョビのパスタ、ウェディングスープの教室。

「失敗も色々ありました。その結果やつぱりハーサルが必要と言うことになるほど、講師の話すことばがすべて理解できるとは限らないし、材料・調味料・道具などすべてそろうとは限らぬことが多い。そこで萩野さんは他のスタッフとともに教室の押しも手をねぬ大黒柱である。」

もに、講師との打ち合わせ・リハーサル・材料込み・タイムスケジュールなどに入念に準備する。分からぬときは、大使館から資料をもって小田原で手を使えない材料は横浜中华街やアメリカにも買いに行くという。

参加者からの会費は材料費・講師へのお礼・調査費・情報提供などに充てる。参画者への案内まですべて手弁当。頭が下がる。

この教室がきっかけで、それまであまり知らなかつた国にも興味を持つようになりました。今や行きたい国がいっぱいあります」と萩野さん。いつまでも世界から小田原に夢を運んでもらいたい。

ほら こんなにやさしい おだわらのみち

何気なく歩いている歩道

当たり前に通じ過ぎている交差点。

実は交通安全の願いから、市では人にやさしい道づくりをしているのです

道路補修課 33-1648

▲セイフティロード

横断歩道部や歩道巻き込み部では車道と歩道の段差が高齢者や身体障害者などのハンディキャップを持つ人には、大変な障害となっています。平成6年度より「人にやさしく活力ある福祉の生活空間づくり」を目的として、官公庁施設やバードコートなど、公共的施設間歩道部から年次計画を立てて、この段差をなくし、点字ブロックを市内28箇所で設置しています。

道路標識

道路標識設置基準に上り利用

道路標識設置基準により利用者に目的地の方向、距離などを示す大型案内板や交差点・踏切り・車線・幅員減少などの警戒・注意を促す警戒標識を設置しています。

なお、止まれや横断歩道標識など、道路交通法によるものについては、都道府県公安委員会が設置しております。



道路照明设计

主要幹線市道・暗くて信号機のない交差点または横断歩道付近・急カーブなど夜間に特に危険な場所や道路の幅員などが急に変わる場所にあります。道路照明施設設置基準により、年次計画を立て時差にしています。

文書古籍

信号機のない十字路や丁字路・見通しの悪い交差点での事故を減らすため、警察と調整し設置しています。特に夜間や雨天など悪天候においては、自動的に点滅する赤色(発光ダイオード)などの光で事前に交差点を知ることができます。これにより運転者が注意し、減速走行する効果があるので、事故が減少しています。



カーブミラー

交通量が多く信号機のない交差点やカーブなどのある公道に車両交通の安全確認のため設置しています。



2月は省エネルギー月間 家庭でできる 冬の省エネルギー

冬のエネルギー需要は年々増加し、夏と並んで、エネルギー消費の最も多い時期です。皆さんも省資源・省エネルギーにご協力ください。

□環境保全課 ☎33-1481

●部屋は適温ですか？

厚手のカーテンや、カーペットを使い、冬の暖房温度を1度下げることにより、全国では約43万世帯分の年間エネルギー使用量の節約になります。



●部屋の照明は、こまめに消そう

家庭で使う電気の約16%は照明用です。蛍光ランプの点滅回数はランプの寿命にはほとんど影響がないのでこまめに切ったほうが経済的です。



●シャワーを流しっ放しにしていませんか？

全国の家庭でシャワーのお湯を1分間流しっ放しにすると、1年に東京ドーム400杯分ものお風呂が沸かせるほどの石油がむだになります。



●エコロジードライブに努めよう

1日5分ほどのむだなアイドリングをやめると、1年間で約2800円の節約になります。急発進、急加速もガソリンのむだになります。



●太陽の恵みを利用

天気のいい日には、カーテンを開け太陽熱を取り入れると暖房効果があります。また、ソーラー発電システムや太陽熱温水器を利用するなどして、エネルギーの節約に努めましょう。



「何か起きたとき救命技術で貴重な命を救おう」を合言葉に、小田原市役所で昨年10月から心臓マッサージなどの技術を習得する普通救命講習会が開かれました。講習では心臓・呼吸が止まっている設定という本番さながらの緊張感の中、「普段出したこともないような大きな声での状況確



いざ

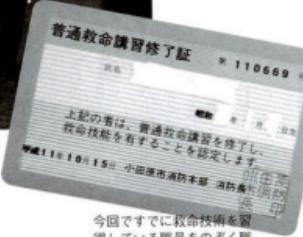
■や人工呼吸・心臓マッサージなど盛りだくさんでした。「講習を受け市職員としての責任をさらに感じます」「いざという時にこの救命技術で大切な命を救うことができたらうれしい」「この講習を受けずに、私が一の時自分がおろおろしてもできなかつたら、一生悔後するでしょう」と感想もさまざまでした。

職員が日々の忙しい仕事をやりくりして参加したこの講習会。全職員が救命技術を持つことによって職員の気持ちがひとつになつたことは、大きな成果といえます。

小田原市職員は「情熱新市役所」を掲げ、市民のためにできることから始めていくことを考えています。2000年もがんばります。



防災とボランティアの日である1月17日をもって職員全員の受講が完了し、職員の代表に修了証が渡されました。参加した市民の方100人にも修了証が送られました。これで、6年間で市民2652人が修了しました。



今後までに救命技術を習得している職員をのぞく職員1437人が取得した。

お知らせ

●希望に応じ、普通救命講習会を開きます。

3時間、1組10~20人 受講料は、無料です。

□消防本部警防課 ☎49-4422

全職員 技術を取得 という時のために！

広域的な交流の拠点となる小田原城や周辺市街地の再整備、城址エリアの整備などを進め、歴史・文化を生かした魅力ある回遊空間をつくるため、小田原市総合計画「ビジョン21おだわら」のリーディング事業として「城下町夢道づくり」(昨年8月号に掲載)のほかに「小田原用水の復元」を目指しています。

● 都市計画課 ☎ 33-1573

レインボープロジェクト

小田原用水の復元

「小田原用水」って知っていますか？

小田原用水の創設時期は明らかではありませんが、古い文献を開いてみると0年以上も昔、北条氏の時代にさかのぼるのではないかと考えられます。

板橋で取水された早川の水は、東海道の沿道の各町に分水し、古くは人々に飲料水として利用され、城下を潤していくました。小田原用水から名戸に水を引くためには、木管といわれる木製の水道管が用いられ、その水を炭や砂でろ過して使っていたようです。

このようなところから、小田原用水はわ

が国で最初の公用用水道だったのではないかと言われています。

しかし、明治時代まで防火用水や雑用水として一般に利用されてきたこの小田原用水も、近代水道施設の整備とともにその役割を終え、現在では板橋地区を除いてはほとんどが埋設されて、暗渠となり、人々の生活からは遠い存在となってしまいました。

今なぜ小田原用水の復元なんだろう？

私たちのまち小田原は古くから都市として発展し、歴史、文化、自然など多くの貴重な財産を先祖から受け継いできました。しかし、震災などにより城下町の面影は破壊され、また、他の日本の都市と同様、近代化を進める中で、まちは少しずつその個性や魅力を失つてしましました。

そして今、時代は大きな転換期を迎え、心のできる個性のあるまちづくりが求められるようになってきました。市では小田原のもつ歴史や文化などの資産に磨きをかけるとともに、まちに潤いや安らぎを取り戻し、誇りと愛着のもてるまちを育

てることが重要な課題であると考えています。また、昨今問題となっている中心市街地の活性の低下に対し、「訪ねたい」「歩いてみたい」と思うようなまちをつくり、人々の回遊性を高め、まちの活性化に結び付けていきたいと考えています。そこで、小田原用水をせせらぎとしてよみがえらせるとともに、歩道の整備や緑化、電線類の地中化、さらには沿道の建物の景観導入を同時に実行することで、美しく魅力的なまちをつくり、地域や商店街の活性化に役立てられないかと考えました。

未来への贈り物

市では旧東海道の小田原宿の中心として古い歴史を持ち、埋設せながらも今まで小田原用水が流れる宮之前・高梨町で、住民の皆さんとともに約180mにおよぶせせらぎの整備について検討しています。

本道としての役割を終えた小田原用水をせせらぎという新たな形で整備することは、先人たちのまちづくりの努力を現代に受け継ぎ、さらには、未来へ引き継いでいく意味からも大変意義のあることだと考えております。

21世紀の小田原のまちをせせらぎが潤す姿を思い描き、皆さまたがせひ応援していただきたいたいと思います。

青葉市場



青葉市場

ぶ・白菜などなど新鮮な野菜と段ボール箱の山。それらを飾る声が響き、「ブリ・アジなどの魚が飛びよう

勢のよいセ

水産市場

当日の海水温は17度。例年より3度も高く、出荷量としてはいまいち。それでも、早朝の澄んだ空氣の中、新年のあいさつと初市の喜びに満ちあふれる市場式では、今年の大漁を祈念して競闘と手締めが行われた。お消れ

小田原
時記
威勢良く
初市



小田原空襲とその遺産

武田敏治さん(栄町)

地方都市への空襲も激しくなり、小田原も危ないと言わしめたのは昭和20年、私が国民学校5年生(11歳)の夏休みに入るころだった。身重の母と4人の弟妹は、足が不自由だった伯母と父の実家(久野坊所)の竹藪のかたすみにバラックを建て疎開していた。栄町の家は当時微用で立川飛行機小田原工場(現城東高校敷地内)で働いていた父と私だけが住んでいた。

終戦の日、8月15日の未明のことだった。警戒警報のサインで目を覚まし、身支度を整え脚絆を巻きながら、父と何やら話し合っていると、突如B29が低空からゴーと振動を響かせ通り過ぎていった。「あっ」と暗闇の空を見上げた時、一瞬、あたりが明るくなり、家の前から浜町・本町にかけて焼夷弾が焰を吹きながら雨のように降ってきた。

父は燃え盛る隣家の消火に向かい、私は道端の焰を吹く弾(筒)に防火用水から水を汲み出し夢中でかけていた。

その時、カーン、カーンと耳をつくもものすごい金属音がした。それは、焼夷弾を束ねた金属板が弾のあとから落ちてきて、道路に跳ね返る音だった。

目の前に突き刺さるように落ちたのは、車輪とも見える焼夷弾の蓋である。直撃を受けたら即死、慌てて我が家に飛び込みびりをした。

外を見回すと町内は、軒並み炎に包まれていた。

「隣のおばさんたちと逃げろ」の父の声で、当時農村地帯だった町田方面(現寿町)へ一目散に駆けていった。

山王川の汐留橋を渡り、辿り着いた農家の縁側で一睡もせず、空を焦がす真っ赤な炎を眺めながら夜の明けるのを待っていた。

思い出の金属板と武田さん。金属枠で束ねた36発の焼夷弾は空中で分離され、覆っていた金属板が空気の抵抗を受けてながら落下、曲がっている鹿型の一部は画面にぶつかった衝撃の痕(あと)である。



朝、戻ってみると、我が家は無事だったが海岸に向かう商店街の焼けのなか残っていたのは、安田貯蓄銀行(現さくらい呉服店)ただひとつだけだった。

そして、昼に玉音放送、裏庭で近所に人達が集まり憔悴しきった表情で聴いていた。大きな櫻のセミの鳴き声が、音声の悪い玉音放送を一層聴き取り難くしていた。

「戦争は終わったよ」と父は呟いた。

敗れた悔しさと、ほっとした安堵感が交錯して複雑な気持ちだった。毎日、敵機におびえていても、日本は絶対に負けないと信じていた私には、敗れたことが本当なのか、よく分からなかった。もう一日早く戦争が終わっていたらと言いながら、肩を落として焼け跡の片づけに足を運んだ父の姿が目に浮かぶ。

陽が沈むころ、厚木航空隊の戦闘機が、兵士の顔がはっきり見える空飛空で徹底抗戦のビラを撒いていった。

しかし、その夜から毎晩おびえていたサインも鳴らず「ああ、本当に戦争は終わったのだな」という実感が湧いてきた。不気味なくらい静まりかえったその夜、ふと軒下を見ると危うく直撃を受けるところだった焼夷弾の金属板が転がっていた。子供心にアメリカ軍の分捕り品のような心地がして、そっと家の押入れの奥にしまっておいた。戦後、そのようなものは回収の御触れがまわったようだが、半世紀の間、あの時の悪夢を忘れたかのように眠っていた。

恐怖の一瞬も時とともに薄れてきたが、日本最後の空襲の貴重な遺産として、この爆撃で亡くなられた犠牲者の冥福を祈りながら後世に残していきたいと思う。

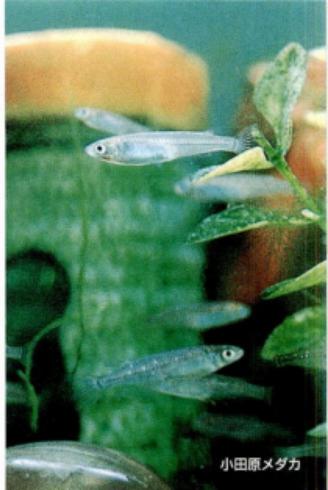


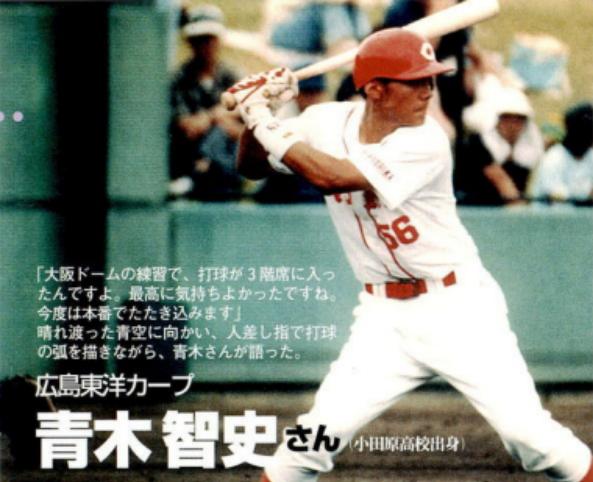
立春大吉展

くら田たまえさんのお人形は、ただかわいいだけでなく人間の色々な顔、悲しかったり、鬼になったり、どきっとさせるようなところを持ちながら、だけどおおらかで遊んで、楽しくさせます。福と鬼がなかなかいいっしょに春をまねく、吉をまねく、節分立春大吉展です。

うつわ・葉の花 高橋台一
うつわ・葉の花 24-7020 OPEN11:00AM~6:00PM 水曜定休







「大阪ドームの練習で、打球が3階席に入ったんですよ。最高に気持ちよかったです。今度は本番でたたき込みます」晴れ渡った青空に向かい、人差し指で打球の弧を描きながら、青木さんが語った。

広島東洋カーブ

青木智史さん(小田原高校出身)

小田原高校を卒業し、大砲としてその将来を展望している若きスマッガ。真っ黒に日焼けした大きな体に、少年っぽさの残る甘いマスクは、今からスターを予感させる。

野球では無名の小田原高校野球部で白球を追いつけた3年間。甲子園にこそ行けなかったものの、打者としての人並はずれた飛距離のうわさは、プロのスカウトの耳にまで届いていた。

高校のグラウンドには、打球が外に飛び出さないようにするため、高いネットが張られている。しかし、青木さんの打球はこれまで高々と越えていった。いつしかネットは「青木ネット」と呼ばれるようになつた。

彼の卒業後、このネットを越えたアーチは一本もない。そんな彼も、プロの世界ではまだまだこれから。一軍を目指してしのぎを削る。



通じて彼の心

私を支える 1本のビデオテープ

ファームの若手メンバーの一人。結果を出せずに気持ちばかり焦って気が変になることもある。そんな時、彼を救ってくれるのは1本のビデオテープ。高校時代のチームメイトやクラスメイトが、青木さんのドラフト指名当日のテレビ番組を含めて作ってくれたものだ。

このビデオには、希望に向かって目を輝かせている最高の自分がいる。しかし、ここに映っているものはそれだけではない。高校時代、い。高校時代、苦楽をともにした仲間から

の熱いメッセージが画面を



さきごろ広島市で行われた全日本合唱コンクール全国大会に、関東代表として出場した小田原少年少女合唱隊とマルベリー・クワイアがそろって金賞を受賞した。少年少女合唱隊は一般B(33人以上)部門で小学生が参加するという半世紀の歴史を持つこのコンクールでも初の快挙。その上、金賞受賞というダブルの栄冠。

少年少女合唱隊の卒団によるマルベリー・クワイアは全国大会の常連。3年連続の一般A(12人以上32人以下)部門での金賞受賞となった。2つの団は、いわば血縁の良い姉妹関係にある。

「今年度のマルベリーは3年連続の金賞がかかっていたけどプレッシャーはありませんでした。神奈川・関東大会と昇り調子。ステージでの第一声を聴いて『これはいいぞ!』と思いました」団員は結果発表前から手応えはあったようだ。「団のカラーは自由に、気負わず、楽しですか。控え室でも、ひときわわいワイワヤ騒いでいるのが小田原の合唱団なんです」とコンクールで両團の指揮をとった森原妙子さん。少年少女合唱隊は、来年、カナダのバンクーバーで開かれるワールド・チャルレン・フェスティバル・ソング・ブリッジにアジア代表として招待されている。



マルベリー・
クワイア(上)
と小田原少年
少女合唱隊
(右)

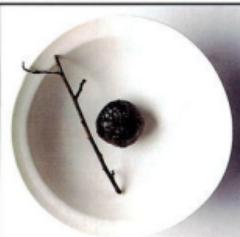


花の花・和菓子 時記

2月 梅まき

小田原の代表銘菓であった甘露梅を、なんとか新しくよみがえることができないかと思っていたら、京都の宇治川べりの茶店「中村軒」さんに教えてもらうことになって、梅まきをつくりました。ぶつぶつをころさずにお餅の良さを生かして、道明寺のしそまきです。もちろんあんは手取りこしん。さっぱりと、しそが苦手な方たちも楽しめます。

和菓子・菓の花 小田原駅前お城通り ☎23-1567 OPEN 10:00AM~6:00PM



心におみやげ、
見つけて小田原。



驚きと感動の梅林

溪流の梅林

～珍品見つけた～



桜鏡

梅の花の王様。梅の花では最大輪。
淡紅の八重咲き。2月中旬

黄門枝垂

幹が黄門様の杖のように曲がる。
淡紅一重咲き。2月下旬

この時期、同フラワーガーデン内のトロピカルドームでは、
バナナ・マンゴ・パイナップルなど南国くだものがどっさり。
ハイビスカス・ブーケンビリアなど色鮮やか。

毎年2月は曾我の梅林・小田原城址公園で梅まつり。
辻村植物公園の梅もすてきです。

250品種300本の梅の変わり咲き種などの特別種を集めた
全国的にも珍しい溪流の梅林。驚きと感動の梅園だ。
それだけじゃない！

梅の香りに誘われて、展望デッキで見渡せば足柄平野を
一望できる大パノラマが
広がる。

さあ、ひとあし早く
小田原フラワーガーデンで
春を感じよう！



小田原フラワーガーデン

☎ 0465-34-2814